

平成29年度「知事とのふれあいフォーラム」での御意見等に係る対応状況【分野版】

テーマ	御意見等	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当
建設産業の魅力と若手技術者の活躍	週休二日制の工事を推進してほしい	要望を踏まえて、週休2日工事の試行を拡大	・平成30年2月15日から、4週8休の達成が確認出来た場合に、間接工事費の割り増し補正を実施することとした。	技術企画課 技術基準担当
	・ICT工事を推進してほしい ・設計変更で費用を計上してほしい	要望を踏まえて、ICT土工モデル工事の試行を拡大	・平成30年3月1日から、既存の試行方式（発注者指定型）に「受注者希望型」を追加し、3D測量等に要する費用を施工者から見積り徴収し、設計変更することとした。	技術企画課 技術調整担当
	若手活用を評価する制度を考えてほしい	要望を踏まえて、総合評価落札方式において、若手技術者の活用を評価する取組を拡大するため、新たな試行を追加	・平成30年度から、経験の少ない技術者の育成を目的に、会社の実績をもって受注できる「技術者育成チャレンジ型」を試行することとした。	技術企画課 技術評価担当
世界ブランドを生かした地域づくり	観光客や登山者が増えているが、外国人に対応できないなど受入体制の整備が課題である	平成30年度新規事業「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク受入基盤整備支援事業」に反映	県内外からの誘客促進のために本県の市・町（延岡市、高千穂町、日之影町）が実施する、案内看板の整備や道の駅等における情報発信スペースの整備等の受入基盤の整備（ハード事業）について支援する。	中山間・地域政策課 地域総合調整担当
	・3地域が連携した滞在型観光を考えてはどうか ・3地域の中学生によるサミットを開催してはどうか ・行政と民間が協力して、民間レベルができる体制を作っていくことが大事	平成30年度新規事業「地域資源ブランド強化促進事業」に反映	県内各地の地域資源ブランドについて、関係機関相互の情報共有を図り、各ブランドが一体となった情報発信や多角的なブランド活用策を展開する。	中山間・地域政策課 地域総合調整担当
	子どもたちの自覚のため教育、50年先を考えて種をまく取組が必要である	要望を踏まえて、みやざき環境読本「ミライへの贈り物」に自然公園に関する情報を掲載	環境森林課作成のみやざき環境読本「ミライへの贈り物」に自然公園に関する情報を掲載し、子ども達等への普及啓発を図ることとしている。	自然環境自然公園室 自然公園担当
美しい宮崎づくり	・自分たちの地域は自分たちで守ることが大切であり、その気持ちを子どもたちに伝えていく必要がある ・小学生と一緒に景観まちづくり学習に取り組み、子どもたちが作ったものを地域の人や観光客に伝えていきたい	要望を踏まえて小学生を対象とした景観教室を開催予定	平成30年度から、(一社)宮崎県建築士会への委託事業により、景観教室（地域の景観に関する授業）を実施する。	都市計画課 美しい宮崎づくり推進担当
	多くのボランティアに参加してもらいたい ため、保険等の支援があるとよい	平成30年度改善事業「美しい宮崎づくり推進事業」により対応	美しい宮崎づくりに取り組む各種団体への支援として、その活動に要する経費を市町村とともに支援する補助メニューを新設する。	都市計画課 美しい宮崎づくり推進担当
	人手不足であるが、イベントを開催し参加する人を増やしていきたい	Facebookページにより情報を発信 美しい宮崎づくり活動団体への情報提供 報道機関への情報提供	美しい宮崎づくりに取り組む団体が自ら情報発信できる場として、Facebookページ「美しい宮崎づくり」を提供している。 また、現在登録を受け付けている「美しい宮崎づくり活動団体」に対し、各種イベントの開催情報を提供しているほか、報道機関への情報提供も行った。	都市計画課 美しい宮崎づくり推進担当
子育てするならみやざき	・県の補助金を活用し、子育て支援のネットワークを築くため、民生委員など地域の関係者を巻き込んで、各活動に取り組んでいる ・共働きの増加で子育てに参加する父親が増えていることもあり、父親同士の交流を行ってほしい ・県内にある支援施設の周知を図ってほしい ・子育て支援センターなどの施設を一覧にしたものがあると、忙しいときにすぐに探すことができるため、わかりやすくていいのではないかと ・地元のまちづくり協議会や婦人会、社会福祉協議会など地域との連携が必要である	・平成30年度改善事業として、これまでの取組を整理・強化した「未来みやざき子育て県民推進事業」を実施予定	・子育て支援に取り組む様々な団体の力を借りることで、行政だけではカバーできない多様な切り口から子どもと子育てを支える人づくりと社会づくりを進める「多様な主体が取り組む子育て環境づくり支援事業」を実施 ・母親の負担軽減を図り、夫婦の子育て協働を推進することを目的に、父親と子どもが一緒に参加する講座を開催する「夫婦の子育て協働推進事業」を実施。 ・毎年11月を「子育てマンス」と銘打ち、県内の子育て支援団体及び企業等の情報をワンストップで提供する子育て応援フェスティバルの開催をメインとした普及啓発活動を実施する「子育てマンス開催事業」を実施。 ・県内の子育て支援活動を掲載しているポータルサイト「すくすくみやざき」を運営。	子ども政策課 子育て支援担当
	認定子ども園が増加する中で、給料や福利厚生が充実している都市部に人材が流れており、保育士の確保が難しい	・「保育士支援センター」の設置運営 ・「保育士修学資金等貸付事業」の実施 (いずれも平成28年度から)	・「保育士支援センター」において、保育士資格を有しながら就業していない潜在保育士の就職に向けた支援や研修を実施 ・県内の保育所等に一定期間勤務すること等で返済が不要となる修学資金や再就職準備金の貸付を実施	子ども政策課 幼児教育保育担当

子育てするな らみやぎ	病児、病後児保育の施設が充実するとよい	病児保育事業の実施	・国、県、市町村が共同して取り組んでいる病児保育事業を平成30年度は15市町で実施予定。	こども政策課 こども企画担当
	放課後児童クラブなどの拡充をお願いしたい	放課後児童クラブ事業の実施	・放課後児童クラブ事業を平成30年度は22市町村で実施予定。 ・クラブの新設や拡充を支援する施設整備事業について、平成29年度は4市町で実施。	こども政策課 子育て支援担当
	出産直後の不安をケアするサポート体制をお願いしたい	乳児全戸訪問事業及び養育支援訪問事業の実施	・生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境などの把握を行う「乳児全戸訪問事業」を平成30年度は16市町で実施予定。 ・乳児全戸訪問事業などで把握した保護者の養育支援が特に必要と判断される家庭に保健師・助産師・保育士等が訪問し、養育に関する相談支援や育児・家事援助などを行う「養育支援訪問事業」を平成30年度は10市町が実施予定。	こども家庭課 児童支援担当